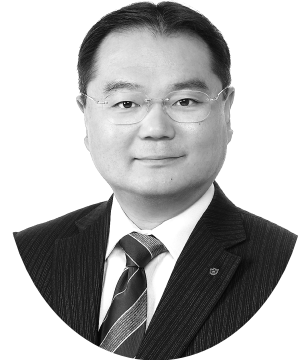


人口減少下のGDP拡大策 —ITは非熟練層底上げにこそ—

大和証券株式会社 企業調査部 チーフアナリスト
上野 真 CMA



わが国ソフトウェア・ITサービス市場が歴史的転換点を迎えている。新たなIT技術は非熟練者の底上げを通じ、大きな経済成長を実現し得る。この革命的転換に、政府・民間企業、市民がうまく速やかに適応し生産性を向上できれば、人口減少下でも政府が掲げるGDP600兆円を超える成長も夢ではない。

小職はPC黎明期以前に8ビットマイコンを購入して以来、大学で情報システムを学び、社会に出てはSEを目指す生粋の技術オタクであった。が、その後はなぜか証券会社に籍を置き、アナリストとしてソフトウェア・ITサービス業界に深く関わることで口を糊してきた。結局、直接IT業界に身を投じることはなかったが、仕事の性格から経営トップや先鋭的な技術者との親交を頂き、ソフトウェア・ITサービス市場をリングサイドから、いや控室までのぞくことができた。むしろ「技術オタク」としては幸甚であったと振り返る。そして、30年以上見つめてきた業界に、歴史的転換点の到来を感じている。

四季ごとに海外へ渡り、各国の尊敬する機関投資家と意見交換をする。そしてそのたびに、日本のソフトウェア・ITサービス市場の構造がグローバルスタンダードから10年以上遅れていることを痛感する。個別の